

# 四日市港管理組合議会ニューズ

Yokkaichi Port Authority Assembly

第62号（令和3年9月発行）

令和3年は、3月に第1回定例会が開催され、一般質問で各議員が下記のとおり管理組合執行部の見解を質しました。

## 主な質問・答弁要旨

### 伊藤嗣也議員



主な質問項目  
・三田町における護岸の漏水について  
・再生エネルギーの活用について  
・電力入札について  
・脱炭素社会を見据えた四日市港の将来について

- 塩浜地区連合自治会長に三田地区で水漏れが発生していると聞き、現場を確認したところ、目地のところから2か所で漏れていた。塩浜地区は四日市公害発祥の地であり、住民の方も大変心配されている。水漏れの原因と対策は。
- 現地を調査したところ、護岸の中央付近2か所の目地において漏水が発生していた。護岸外側に位置する三田町地先埋立地の側溝の排水不良が原因である。この埋立地はしゅんせつ土で埋立てを行っており、土質が不均質であるため雨水排水用の側溝が不等沈下し排水不良を起こしていると考え。対策として目地の補修と併せて、不等沈下した側溝の据え直しを行う。
- 再生可能エネルギーの活用は現在していないとのことだが、風力や太陽光などを活用していくべきだと考えるが。
- 脱炭素社会の実現に貢献できるよう、地球温暖化対策実行計画を令和3年に改定し、目標を設定して取り組んでいく。
- NTNグリーンパワーステーションという機器は、風力発電と太陽光発電を備えて、再生可能エネルギーを利用する照明機能だけではなく、オプションとして、ネットワークカメラや無線通信システムなど、目的に応じて様々な機器を付加できるものである。このような機器を積極的に導入すべきと考えるが。
- 令和3年度にこのような機器を1基設置する。

### 杉本熊野議員



主な質問項目  
・「四日市港戦略計画（2019～2022）の成果と課題及び今後の取り組みについて  
・今後のポートセールスについて  
・放置艇対策について

- コロナ禍でのポートセールスについて、WEB配信に対する参加者の反応はどうかであったのか、そのことを踏まえて、今後のポートセールスの在り方について、どのように考えているのか。
- WEB配信に対するアンケート及び港湾運送事業者の声によると「心配された通信トラブル等もなく、ストレスフリーで見ることができた」、「他のWEBセミナーと比べても接続は非常によかった」、「資料の見やすさ、音声も、会場参加と変わらない、あるいはそれ以上だった」など、総じて好評であった。  
今後は、これまで積み重ねてきた対面による活動と、新しい手法としてのWEBを活用した活動とを、的確に組み合わせることで、時代に即したポートセールス活動を積極的に推進していく。
- プレジャーボート等のけい留保管の適正化に関する条例を制定し、令和2年4月1日から施行した。施行後1年経過としてしているが、この1年間の取組状況等は。
- プレジャーボート等の所有者等から港湾施設使用許可申請書の受付を開始し、使用許可を行っている。新型コロナウイルス感染症の影響で、社会経済活動が停滞する中で、申請書の受付期間を長めに設定したり、使用許可日のばらつきを調整するため、令和2年度に限って施設使用料を免除したりするなど、プレジャーボート等の所有者が手続きを行いやすい環境を整えることに努めている。